取扱説明書

STUDIO EQUIPMENT
スタジオイクイプメント

*この製品は、スタジオイクイプメントと
ゲッコーエレクトロニクスのダブルブランド
製品です。
STUDIO EQUIPMENT/Gecko

610L20
FU/COMM IF2

'26 02更新

安全にお使いいただくためのご注意

安全にお使いいただくため、本製品の設置前、及びご使用前に、以下をよくお読みください。
ご使用中も、いつでも見られる場所に保管してください。

！警告

●電源電圧はAC100V(50/60Hz)専用です。これ以外の電圧の電源を接続しないでください。火災や感電の原因になります。
●電源プラグは確実に差し込んでください。抜けかかった状態で端子が露出していると火災や感電の原因になります。
●電源コードは束ねて使用しないでください。電源コードの上に物をのせないでください。電源コードの温度が高くなった場合やコードに傷がつくと火災や感電の原因になります。
●本製品に水がかかったり、内部に水が入ったりしないようにご注意ください。火災や感電の原因になります。
●本体を分解しないでください。
●落雷の危険がある場合は本体、電源コードに触らないでください。感電の原因になります。なお、落雷が近いことが事前に確認できる場合は電源スイッチを切り電源プラグを抜いてください。
●本製品使用中に火花や煙が出る臭いがするなど異常を感じたら速やかに電源スイッチを切り電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。
●本体設置時や移動後などは、電源プラグを抜いた状態で、本製品を動かしてみて音がするか確認してください。内部で何かが転がるような音がする場合の他、内部部品脱落や異物混入の可能性を感じた場合は決して電源プラグを接続しないでください。(電源が入っている時は動かさないでください)

！注意

●しっかりした安定な場所に設置してください。落下等の衝撃が加わると、火災や感電の原因になります。
●ストーブ等、高温になる器具に本体及び電源コードを近づけないでください。火災や感電の原因になります。
●周囲温度が高い場所で使用しないようご注意ください。火災の原因になります。
●本製品はエアコン等により周囲温度の安定している屋内専用です。屋外で使用しないでください。
●動作中は本体の放熱を妨げないようにしてください。火災の原因になります。
●配線工事を伴う設置の場合、配線接続が正確に行われているか、専門業者により十分に確認してからご使用ください。間違った配線のまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●時々、電源プラグを抜いて、電源コードに傷や電源プラグに変形等の異常が無いか点検してください。異常がある場合は、販売店にコードの交換を依頼してください。異常のある電源コードを使用すると、火災や感電の原因になります。
●本製品を長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。長期間、コンセントに電源プラグが挿し込まれたままになっていると、ほこりなどの付着によって、火災の原因になることがあります。

*本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。海外での使用は品質保証対象外となりますのでご注意ください。

*付属電源コードは本製品専用です。他の機器に接続しないで下さい。

**** 本書で、配線接続に関する詳細説明も行っています。安全にお使いいただくために、配線接続工事は専門の業者に依頼し、十分な動作確認を行った上でご使用ください。**

610L20 製品概要

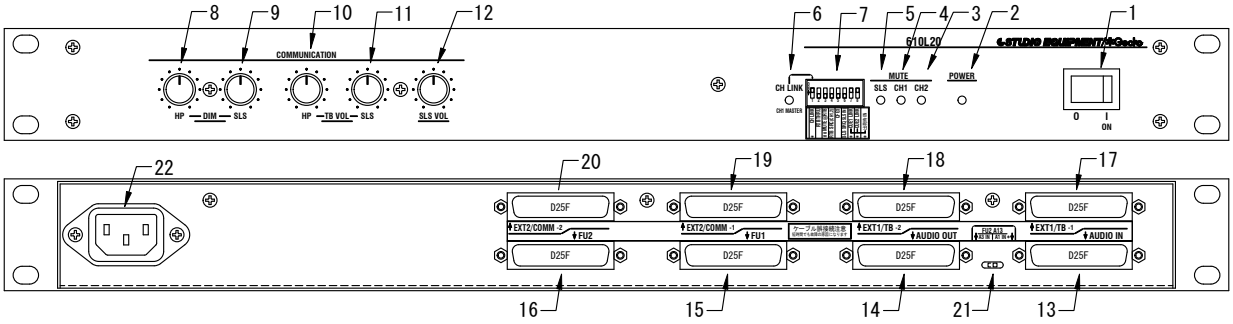
カフボックス 610FA1/671FUS-B/(610FUM-B)接続用 2chカフインターフェースユニット。トークバック機能を内蔵しています。

製品構成

・**610L20** : FU/COMM IF2 トークバック機能を内蔵。1Uサイズ

各部の機能

1:電源スイッチ。右側押でON
2:POWER インジケーター。内部電源が動作していることを表示します。赤色LED。
3,4:CH1,CH2 MUTE インジケーター。赤色LED。CH1,CH2が出力MUTEになっている時点灯。外部機器未接続の場合、MUTEインジケーター消灯(CH ON)で起動します。外部機器が接続されている場合は接続機器の状態に依存します。
5:SLS MUTE インジケーター。赤色LED。SLS(ブーススピーカー)出力がMUTEになっている時点灯。CH1,CH2または両方がONになっている時にSLS出力がMUTEになります(外部機器未接続の場合CH1,2 ONとなるためSLSはMUTE状態です)。ラジオ、MA設備では一般的な機能で、ハウリングを防止しつつ、円滑なコミュニケーションを行うことができます。
6:CH LINK インジケーター。赤色LED。CH LINK動作時に点灯します。DIPSW#1[CH_LINK]の他、本体背面"EXT1/TB"コネクターの[Y-FU_LINK_SW_IN]端子の接続で、外部からCH LINK動作を制御することができます。DIPSW#1と外部制御端子は、どちらかがONになっている場合、ONになります(OR動作)(*DIPSWは機械強度的に頻繁な操作に向かないため、操作頻度が高い場合は外部にスイッチを設けることを推奨いたします)。
7:DIPSW 本体動作設定用。各設定詳細は後述。
8:HP DIM ボリューム。FU1,FU2に接続されているカフボックスのヘッドフォン出力のDIMレベルを、-0dB～-∞の間で設定します。HP DIMは、RTB動作時、TB動作時に動作します。
9:SLS DIM ボリューム。SLS出力のDIMレベルを、-0dB～-∞の間で設定します。SLS DIMは、RTB動作時、TB動作時に動作します。FU1、FU2への単独TB動作時にはSLS DIMは動作しません(HP,SLSのDIMボリュームは独立)。
10:HP TB ボリューム。FU1,FU2のHP TB音声レベルを-∞～maxで設定します。
11:SLS TB ボリューム。SLSのTB音声レベルを-∞～maxで設定します(HP,SLSのTBボリュームは独立)。
12:SLS ボリューム。SLS音声出力のレベルを設定します。本体背面"EXT1/TB"コネクターの[SLS_VOL_DC_IN]端子の利用で、外部からSLSのレベルを調整できます。このとき本体"SLS VOL"で設定したレベルを最大として、外部から減衰量を調整します。外部制御を単に外付けSLSボリュームとして使用する場合、"SLS VOL"のレベルは使用する最大音量にしておきます。SLSレベルの外部制御は、ミキサー(またはアナウンサー)の手元にボリュームを配して、SLSのレベルを細かく調整する必要がある場合に対応するための機能です。
13:AUDIO IN コネクター。D25Femaleタイプ(#4-40インチネジ)。CH1、CH2、他、音声入力。
14:AUDIO OUT コネクター。D25Femaleタイプ(#4-40インチネジ)。CH1、CH2、他、音声出力。
15,16:FU1,FU2コネクター。D25Femaleタイプ(#4-40インチネジ)。カフボックス接続用。
17,18:EXT1/TB コネクター。D25Femaleタイプ(#4-40インチネジ)。FU1外部制御、TB音声及び制御、他、制御接続。
19,20:EXT2/COMM コネクター。D25Femaleタイプ(#4-40インチネジ)。FU2外部制御、LINK接続、他、制御接続。
21:FU2 A13 スイッチ。FU2 A13(FU2カフボックスのAUX1に接続される音声)選択SW。A3選択でFU1に[A1],FU2に[A3]と、各カフボックスのAUX1にそれぞれ別な音声を送ることができます(AUX2は同じ[A2]音声)(詳細はブロックダイアグラムを参照)。[MON_A3_IN]はAUDIO OUTコネクターのCH6(ここだけ入力がAUDIO OUTコネクターに割り当てされています)。
22:電源コネクター。ULインレット。AC100V入力用。



DIPSWの設定

DIPSW	設定機能	出荷時設定	備考
#1	CH LINK	ON	ON:CH2がCH1のスレーブ動作となる。(*1)
#2	RTB THRU	OFF	本体LINK接続時のスレーブユニットはONに設定。
#3	no MUTE@RTB	OFF	RTB動作時自動CH MUTEを行わない。=FU ONのままRTBが動作する
#4	RTB SRC (CH1,2)	OFF	OFF:カフボックスからのRTB音声を使用 ON: CH1(2)の音声をRTB音声として使用
#5	CFG1	OFF	"EXT1","EXT2" の[FU1(2)_ON_TALLY_OUT]の設定。 OFF:CH ON状態(音声が出力される状態)を出力 ON: カフボックスのON状態を出力(*2)　(*外部強制FU ON スイッチに オルタネート(ロックタイプ)スイッチを使用する場合ONに設定)
#6	SLS SRC (SLS IN)	OFF	OFF:SLS音声に[MON_HP_IN/MON_IN]を使用。"AUDIO_IN"コネクターのCH1,2 ON: SLS音声に[MON_SLS_IN]を使用。"AUDIO_IN"コネクターのCH3,4
#7	CUE1 LINK	ON	CUE1(FU1)とCUE2(FU2)はそれぞれ独立した点灯用入力端子を持っているが、#7,#8を両方ON(=出荷時)にすることでCUE1,CUE2の点灯をリンクし、どちらの入力端子の操作でも両方が点灯する状態になる。OR動作。
#8	CUE2 LINK	ON	

*1 CH LINK ONで、FU2コネクターにカフボックスが接続されている場合、FU2のRTB動作で、CH2のみMUTE動作になります。FU1のRTB動作ではCH1,CH2共MUTE動作になります。注:CH LINK時、FU2のRTB音声出力はスレーブ連動しません。

*2 #5と#1が両方ONの場合、"EXT2"の[FU2_ON_TALLY_OUT]は、FU1のON状態(=[FU1_ON_TALLY_OUT]同)を出力します。

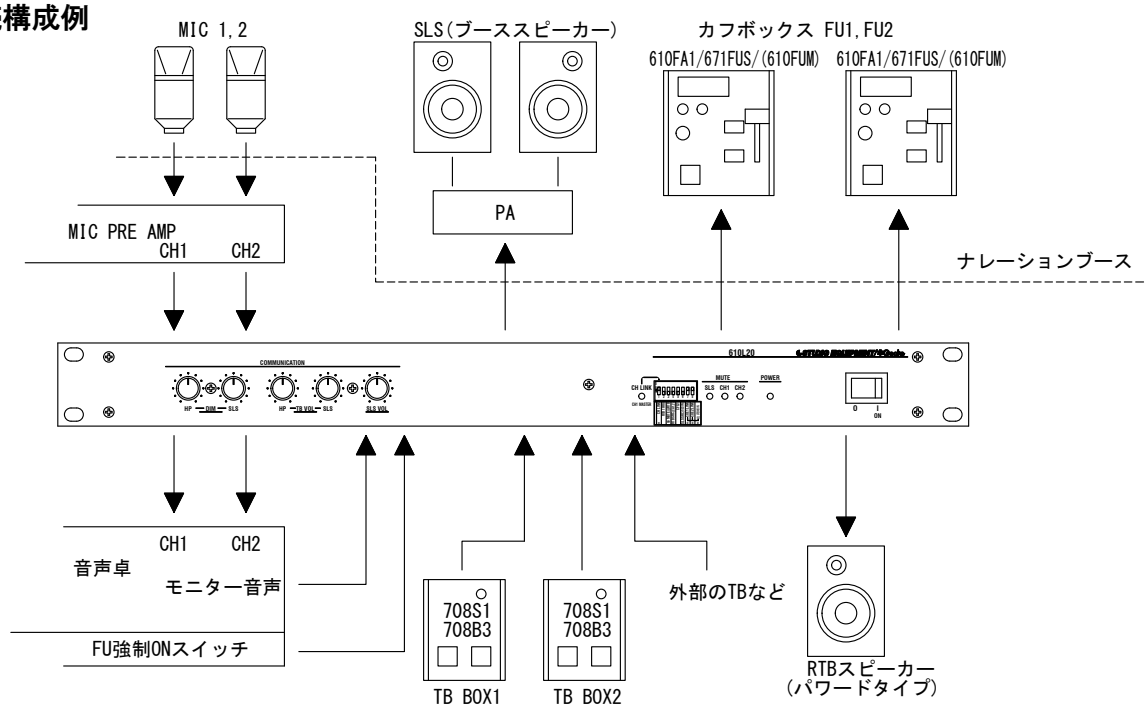
610L2,610L2-Cとの相違点

610L20は、610L2-Cのマイナーチェンジモデルです。基本的な機能や、I/Oコネクターピン配列は互換性をもっていますが、一部の入出力回路など異なる部分もあるため、直接の差し替えは注意が必要な場合があります。

* 610L20の背面コネクター配置は、610L2-C(610L2)とは相違します。DC出力ピンなどもあるため、誤接続は短時間でも故障の原因となる場合があります。接続時に本体コネクターの配置を十分ご確認ください。
* [CH1(2)_AUDIO_OUT](FU1(2)の音声出力)は610L2-Cがサーボ電子バランス出力ですが、610L20では非サーボ電子バランス(BTL)出力のため、**アンバランス入力に接続する場合はCOLD側出力はオープン(未接続)にする必要があります。この場合、入出力間ゲインが常時-6dBとなります。このため、アンバランス入力への接続(アンバランス型のインサートI/Oなど)では、取扱いに注意が必要です。アンバランス入力への接続は、出来れば避けてください。**
  CH1(2)_AUDIO_OUT 以外の音声出力は610L2-Cと同様の回路です。
* MON_IN - HP OUTゲイン 610L2-C:-3.3dB , 610L20:-4dB
* MON_IN - SLS OUT最大ゲイン 610L2-C:+5dB , 610L20:+2dB
* FU2の A1 出力(カフボックスのAUX1音声)に、 A1-A3 入力切替機能を追加(610L20では FU2 A13 の名称)。

他、いくつかの設定機能が追加されています。

接続構成例



配線接続

音声接続は、"AUDIO_IN""AUDIO_OUT"コネクターに配線します。TEAC/TASCAM製品互換のピン配列になっていますので、市販のXLRブレークアウトケーブル等も利用可能です。接続はピン配列記載頁を参照してください。

[MON_A1(A2)(A3)_IN]は、接続するカフボックスが610FA1,671FUS-Bの場合に使用します。

*[MON_A3_IN]はAUDIO OUTコネクターのCH6です(ここだけ入力がAUDIO OUTコネクターに割り当てされています)。

カフボックスの接続は、"FU1""FU2"コネクターに配線します。当社供給品接続ケーブルが利用可能です。設備配線において施工される場合は本書記載のカフボックス用ケーブル詳細図を参照してください。ケーブル最大長は、使用するケーブルの性能により決まります。一般的なツイストペアケーブルまたはマルチマイクケーブルが使用できますが、ケーブルが長くなる場合は、直流抵抗による ±15V電源の電圧降下が最も問題となります。カフボックスまでのケーブル長が長い場合はこの点に配慮(+15V,0V,-15V,各1線あたり両機器の接続端間で4Ω以下に)してください。

* 誤配線による故障は、保証対象外となりますので接続の確認を十分に行ってください。

EXT1/TB,EXT2/COMM コネクターの外部配線接続

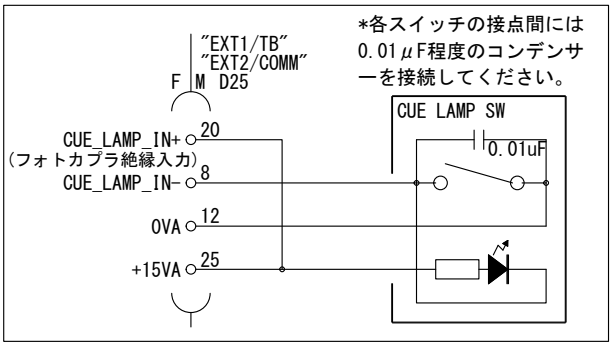
*EXTコネクターは、EXT1/TB、EXT2/COMMの二種類があります。以下では簡便のためにEXT1/TB、EXT2/OMMに共通する機能を"EXT""EXT1""EXT2"と記載します。EXT1/TB,EXT2/COMMそれぞれにのみある機能については"EXT1/TB" "EXT2/COMM"とそれぞれ記載します。

基本的な機能を除くすべての外部制御機能が"EXT"コネクターに集約されています。コネクタピン数の制限から各機能で共有しているピンもあり、実際の配線接続は複雑になります。"EXT1/TB" "EXT2/COMM"各二つのコネクターはそれぞれ全ピン結線されていて同一の機能のコネクターが二つずつあります。配線の複雑さを軽減するために各コネクターを使い分けて配線してください。

信頼性の確保のために、工事施工やケーブルの作成は、専門の業者に依頼して下さい。

外部配線用に取り出せる電流は+15V/-15Vともそれぞれ合計("EXT1","EXT2"の合計で)最大150mAです。

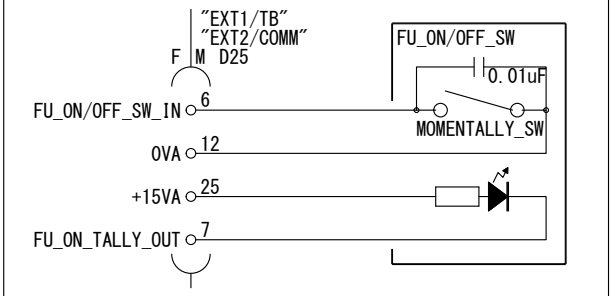
CUE LAMP



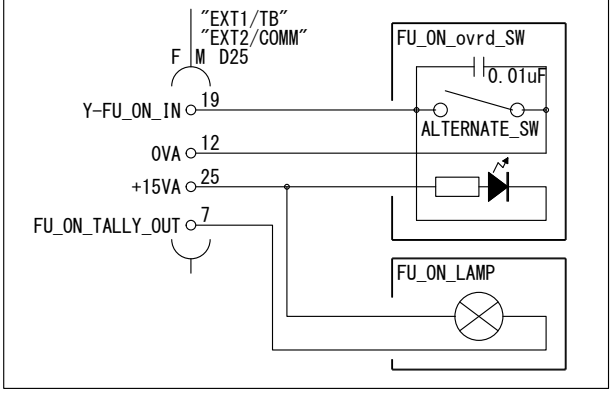
*CUE LAMPの接続はCUE1(FU1)は"EXT1"に、CUE2(FU2)は"EXT2"にそれぞれ独立しています。
[CUE_LAMP_IN+][CUE_LAMP_IN-]はフォトカプラによる絶縁入力です。この間に外部の5～24V (1.5～3mA定電流回路内蔵外部抵抗不要)をかけることでCUE_LAMPを動作させることもできます。本体のDIPSW#7,8を両方ON(=出荷時状態)にすることでCUE1(FU1),CUE2(FU2)のCUE LAMP出力を連動させて常に同時に点灯させることが出来ます。(DIPSW#7,8は"EXT2/COMM"コネクターの[CUE_LAMP_LINK]と"FU1""FU2"の[CUE_LAMP_OUT] を接続します。)*接続接点のOFF時許容漏れ電流は0.1mA以下

EXT FU ON/OFF

モーメンタリースイッチの場合(ON/OFF動作になります)



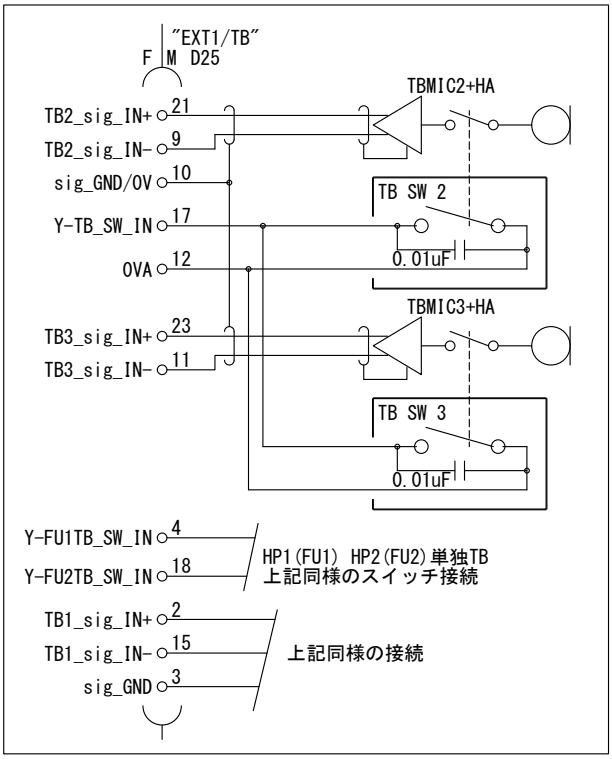
オルタネートスイッチの場合(強制ON動作になります)



*[FU_ON/OFF_SW_IN]は0VAに接続される毎にON/OFFが切り替わります。モーメンタリースイッチを使用してください。外部カフ制御がFU ON状態にロックする、従来的な強制カフONが必要な場合は、[Y-FU_ON_IN]を使用します。この場合はオルタネートスイッチが必要です。
* [Y-FU_ON_IN]がONの状態では、RTB以外の操作は無視され、常にFU ONにロックされます。[Y-FU_ON_IN]が解除される時は、カフボックスの状態に復帰します。カフボックスが接続されていない場合はCHがONに復帰します。
*[Y-FU_ON_IN]に照光式オルタネートスイッチを接続する場合、スイッチのランプは左図のように自照させてください。 ここをタリー表示として使用してしまうと、カフボックスでONなのかスイッチで強制ONにロックなのか分からなくなってしまいます。FU_ON表示ランプが必要な場合は別に設けてください。*この場合本体DIPSW#5[CFG1]:ONで使用してください(動作はDIPSW設定頁参照)(*DIPSW#5:ONで、DIPSW#1[CH LINK]もONの場合、EXT2の[FU2_ON_TALLY_OUT]はFU1の状態を出力します。)

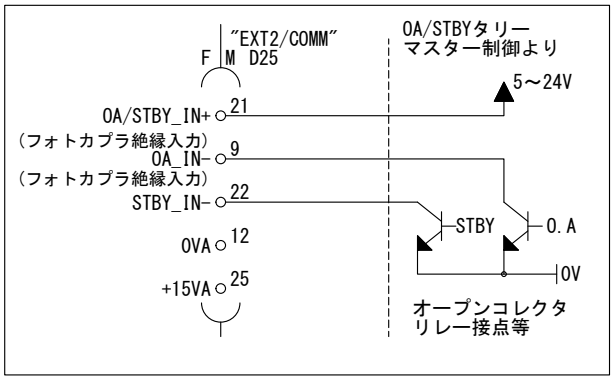
*各スイッチの接点間には0.01μF程度のコンデンサーを接続してください。特に外部のランプ電源を、 610L20の+15Vから取る場合は必ず取り付けてください。取り付けない場合、本線にクリックノイズを生じることがあります。

TB SW , TB MIC



*[Y-TB_SW_IN]はHP、SLS両方にTB(+DIM)がかかります("EXT2/COMM"[DIM_LINK]がONになります)。[Y-FU1(2)TB_SW_IN]は、FU1(2)のHPにのみTB(+DIM)がかかります。 他のHP、SLSは変化ありません("EXT2/COMM"[DIM_LINK]はONになりません)。各HPへの単独TBは、司会役の出演者にのみ番組の進行等について指示を行う場合に使用されます。生放送対応の設備に必要な機能です。
*TB1,2,3の音声入力は入力部で単に同レベルでミックスされ、HP/SLSに出力されるTB音声として使用されます。("EXT1/TB" の[TB_sig_OUT+]にミックスされたTB信号がそのまま出力されています。) 各TB_SW毎にローカルのマイクのみを生かしたい場合は、マイクアンプ出力側の音声をTB_SWと連動してON/OFFする必要があります。
*各スイッチの接点間には0.01μF程度のコンデンサーを接続してください。
*TB機能には、この接続に最適化された製品708S1、708B3の使用を推奨します。(708S1,708B3 最大2台接続可能)
*2つの"EXT1/TB"の同じTB音声入力(例えばTB2+,-)に別な信号を接続することはできません。二つの"EXT1/TB"は全ピンパラですので、入力される二つのTB音声がショート接続になり正常に動作しません。複数のTB音声がある場合はTB1,TB2,TB3に分けて接続します。TB音声の最大数は3系統です。

OA/STBY LAMP

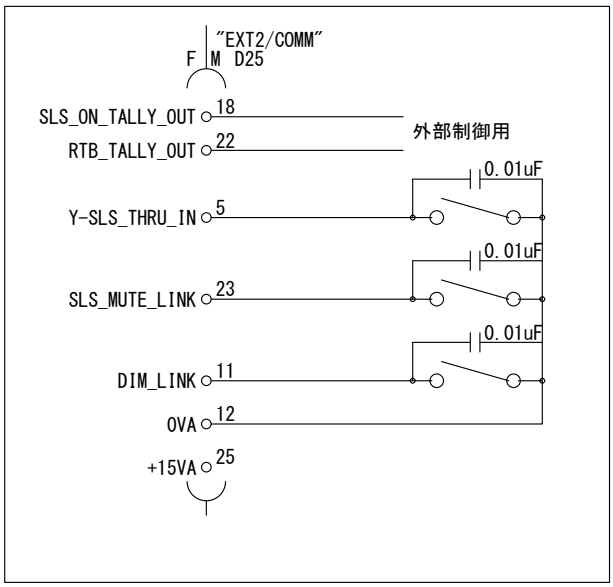


OA/STBY入力はフォトカプラによる絶縁入力です。左図では外部の電源を使用して絶縁された状態で接続する例を示しています。5～24V(1.5～3mA定電流回路内蔵外部抵抗不要)の電圧で動作します。絶縁接続は、不用意なアースループによるノイズ等のトラブルの可能性を下げることができます。

前述 CUE LAMPの接続のように、内部+15Vを[OA/STBY_IN+]に接続することもできます。

*接続接点のOFF時許容漏れ電流は0.1mA以下

OTHER CONTROL



これらの機能は複雑な外部制御が必要な時に使用します。

[SLS_MUTE_LINK]をONにしている間はSLS出力がMUTEになります。[DIM_LINK]は、HP/SLSのDIMを外部から動作させます。この二つの端子は内部の制御出力からも接続されているため、入出力兼用になっています。 [RTB_TALLY_OUT]はLINK接続を含めたどれか1つ以上のカフボックスのRTBを動作させたときONになります。

*複数台の610L20をLINK接続している場合、[SLS_MUTE_LINK][DIM_LINK][RTB_TALLY_OUT]の3つについて、連動して動作します。

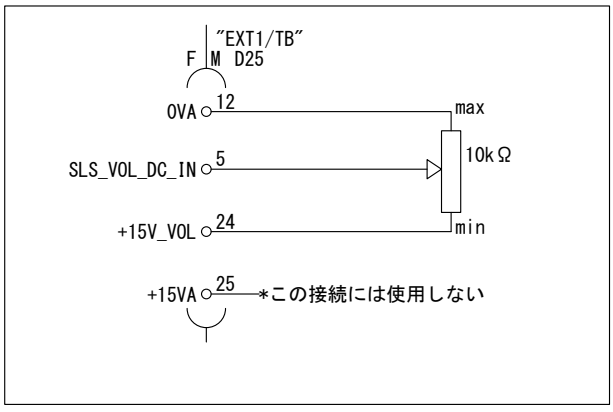
[Y-SLS_THRU_IN]は他の制御を無視して強制的にSLSをONにします。

*[SLS_MUTE_LINK]と[Y-SLS_THRU_IN]を同時にONした場合[Y-SLS_THRU_IN]が優先されます。

[SLS_ON_TALLY_OUT]はSLS出力がONの状態の時にONになります。

*各スイッチの接点間には0.01μF程度のコンデンサーを接続してください。

EXTERNAL SLS VOLUME POT



[SLS_VOL_DC_IN]にボリューム部品等を接続することによりSLS(ブーススピーカー)の音量を外部から制御することができます。

ボリューム部品はBカーブ(リニアカーブ)10kΩ。図の接続で配線します。[SLS_VOL_DC_IN]への入力電圧が増加すると減衰量が増加します。この接続には必ず[+15V_VOL]Pin24を使用し、[+15VA]Pin25は使用しないで下さい。

*外部からSLSボリューム制御を行なう場合、本体操作パネルのSLS VOLで設定したレベルがSLSの最大レベルとなり、このレベルから減衰量を外部調整することになります。外部にSLSボリュームを付ける場合、通常、本体操作パネルのSLS VOLは、使用する最大音量にしておきます。

***注**

各制御端子の定格電圧は0～+30V、マイナス電圧接続禁止。*オープンコレクタ出力(実際はオープンドレイン出力)にはマイナス電圧保護ダイオードが入っています。マイナス電圧の誤接続によってマイナス電圧保護ダイオードが破損する場合があります。接続時に注意してください。

＊誤配線による故障は、保証対象外となりますので接続の確認を十分に行ってください。

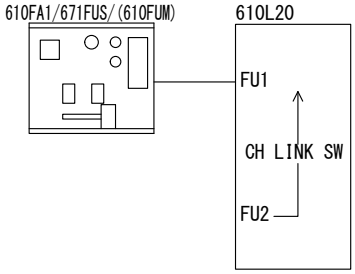
本体リンク接続について

複数台の610L20をリンク接続することで、コミュニケーション機能等を連動させて全体で一つのシステムとして動作させることが出来ます。

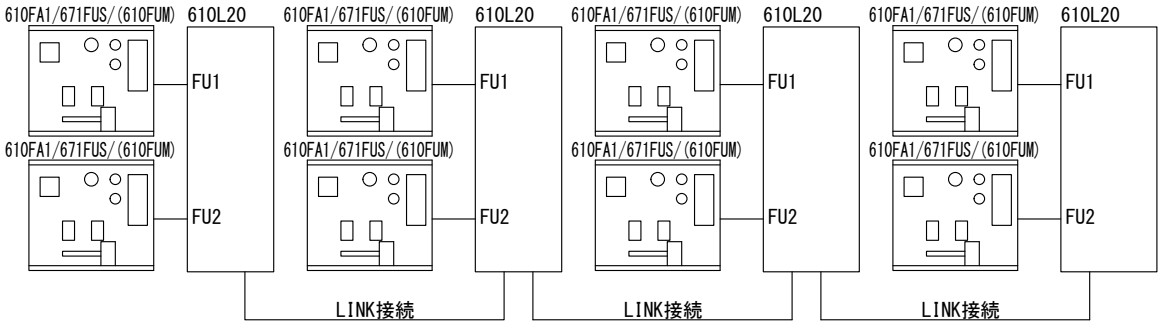
リンク接続する610L20の、"AUDIO_IN""AUDIO_OUT""EXT1/TB""EXT2/COMM"の一部の端子同士を接続します。外部接続ケーブルと物理的に競合する接続が発生する場合もあるため"EXT1/TB""EXT2/COMM"の各二つのコネクターを使い分けます。(接続詳細は後述)。

リンクチャンネル数はリンク接続信号中のRTBオーディオの再ミックスによる信号劣化の制限から8ch(4台)を最大とします。

接続最小構成



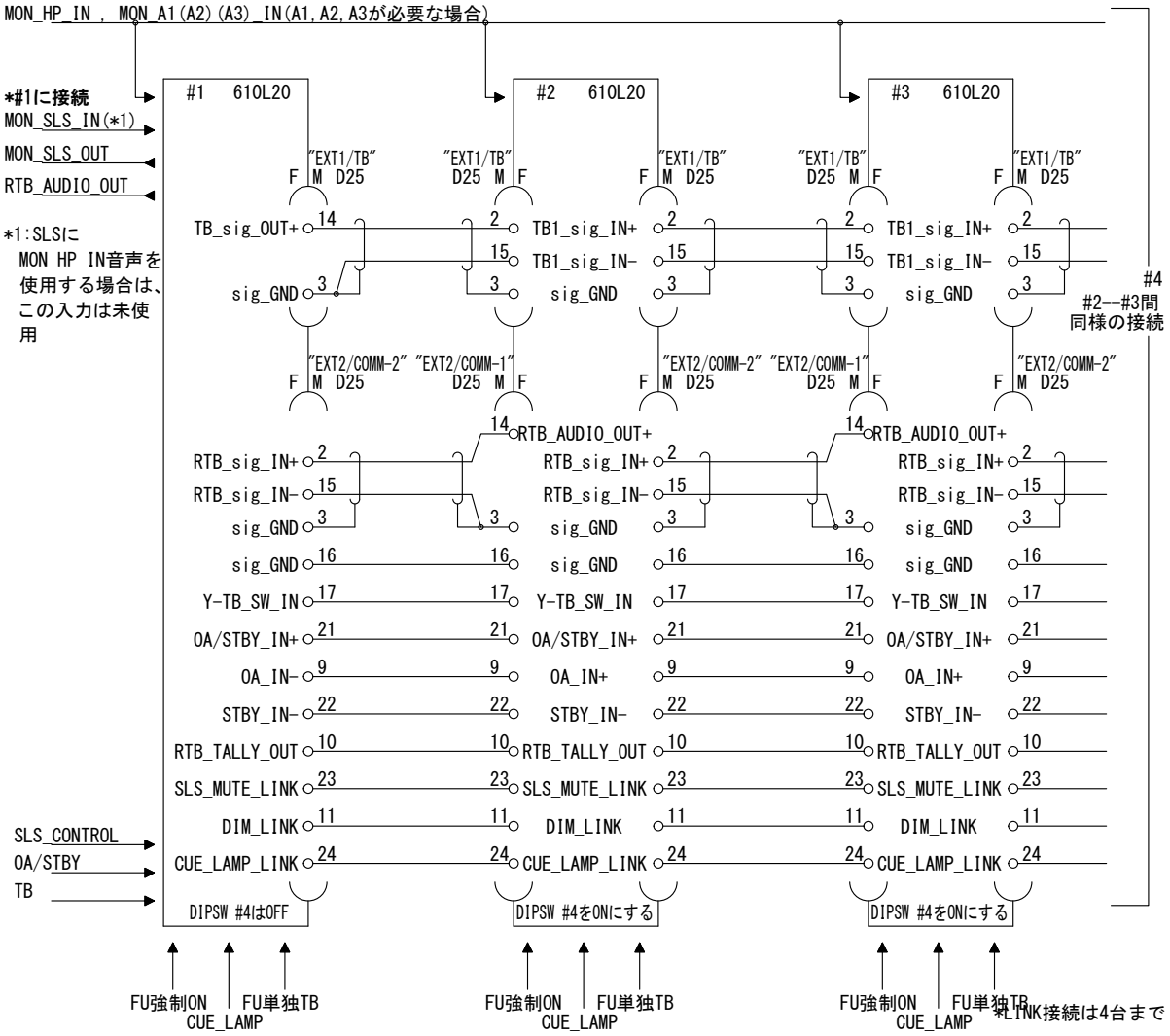
接続最大構成



LINK接続でリンクされる機能

*TB 音声
*TB SW 動作 (FU1(2)TB SW(各FUへの単独TB) はLINKしません。必要な場合は各個別に配線します)
*RTB 音声信号MIX
*カフボックスへのOA/STBY タリー
*RTB時のMONITOR DIM動作
*カフON時のSLS MUTE
*RTB タリー出力
**MON HP IN信号、MON A1(A2)(A3)信号(使用する場合)は、LINK接続する各610L20へ個別に配線(パラ接続)します。
**CUE LAMP機能の入力は、各EXTコネクターにありますが、610L20前面のDIPSW#7,8をON(=出荷時設定)にすることでCUEランプの点灯をリンク(一つの入力端子の動作でリンクしたすべてのカフボックスのCUEランプを点灯)することができます。

本体リンク接続の詳細



*MON_HP_IN音声は、外部で分岐配線を行います。
*リンク配線は、音声信号接続を除き、電気的にはそれぞれの信号を全部のユニットで直結しているだけです。電気的接続要件(全部のユニット間の各信号が接続)が満たされていれば、コネクターの使いまわしは変更することができます。
*FU_ON/OFF、FU1(2)TB制御はそれぞれのユニットに対して配線します。それ以外の制御入出力は#1マスターユニットに配線します。CUE_LAMPは、DIPSW#7,8"CUE_LINK"をON(=出荷時設定)することでLINK接続に含まれます。
*外部TB音声、SW(TBスイッチボックス等)は、#1マスターユニットに接続します。リンク接続によりスレーブユニットにTB音声、SW動作が分配されます。
*スレーブユニットのSLS_IN/OUT音声は使用しません。
*DIPSW#2は、#1メインユニットはOFF、#2以降のスレーブユニットはONにします。
*"AUDIO_IN"[MON_A1(A2)(A3)_IN]は、接続するカフボックスが610FA1、671FUS-Bの場合に使用しますが、本体リンク接続ではリンクされませんので、外部配線で分岐接続を行ないます。

***注**
＊誤配線による故障は、保証対象外となりますので接続の確認を十分に行ってください。

コネクターピン配表 610L20 -1

Drw. No.	Page
610L2010PD1	1 of4

"AUDIO_IN"

*Dサブコネクターの勘合固定ネジは強く締めないでください。

D25F(=Female) #4-40 post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.		Description	Note
1	CH8	CH2_AUD_IN+	カフON/OFF メイン音声入力2
14		CH2_AUD_IN-	
2		sig GND	
15	CH7	CH1_AUD_IN+	カフON/OFF メイン音声入力1
3		CH1_AUD_IN-	
16		sig GND	
4	CH6	MON_A2_IN+	AUX1,2 IN のあるカフボックス接続用 (671FUS-BはAUX2 INがXLRのみなので標準ケーブルではA2は未接続。接続する場合は工夫が必要です)
17		MON_A2_IN-	
5		sig GND	
18	CH5	MON_A1_IN+	
6		MON_A1_IN-	
19		sig GND	
7	CH4	MON_SLS_IN_R+	MON_HP_IN音声を"MON_IN"としてフロントパネルDIPSW切り替えで共通で使用することができます。この時MON_SLS_INは未使用空き端子となります。
20		MON_SLS_IN_R-	
8		sig GND	
21	CH3	MON_SLS_IN_L+	
9		MON_SLS_IN_L-	
22		sig GND	
10	CH2	MON_HP_IN_R+/MON_IN_R+	FU1,2のFU_MON_L,R音声 ("MON_IN"としてフロントパネルDIPSWの切り替えによりSLS音声と共通で使用することができます。この時MON_SLS_INは未使用空き端子となります。)
23		MON_HP_IN_R-/MON_IN_R-	
11		sig GND	
24	CH1	MON_HP_IN_L+/MON_IN_L+	
12		MON_HP_IN_L-/MON_IN_L-	
25		sig GND	
13			

"AUDIO_OUT"

*Dサブコネクターの勘合固定ネジは強く締めないでください。

D25F(=Female) #4-40 post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.		Description	Note
1	CH8	CH2_AUD_OUT+	カフON/OFF メイン音声出力2 非サーボ電子バランス(BTL)型(*7 注意)
14		CH2_AUD_OUT-	
2		sig GND	
15	CH7	CH1_AUD_OUT+	カフON/OFF メイン音声出力1 非サーボ電子バランス(BTL)型(*7 注意)
3		CH1_AUD_OUT-	
16		sig GND	
4	CH6	MON_A3_IN+	FU2 A13 の入力[A3] (ここだけ入力が割り当てられています)
17		MON_A3_IN-	
5		sig GND	
18	CH5	RTB_AUDIO_OUT+	アンバランス出力回路 (IN-OUT GAIN: 0dB)
6		sig GND(RTB_AUDIO_OUT-)	
19		sig GND	
7	CH4	SLS_OUT_R+	アンバランス出力回路 (IN-OUT GAIN: 最大+2dB)
20		sig GND(SLS_OUT_R-)	
8		sig GND	
21	CH3	SLS_OUT_L+	
9		sig GND(SLS_OUT_L-)	
22		sig GND	
10	CH2	HP2_OUT_R+	アンバランス出力回路 (IN-OUT GAIN: -4dB) "FU2"コネクターの FU_MON_L,R とのパラ出力です。(= FU2への単独TB時この出力にも同様にTBがかかります) 通常は未使用。ブース内のゲスト用ヘッドフォンアンプなどで使用します。
23		sig GND(HP2_OUT_R-)	
11		sig GND	
24	CH1	HP2_OUT_L+	
12		sig GND(HP2_OUT_L-)	
25		sig GND	
13			

*7 注意 アンバランス入力への接続では必ずCOLD側を未接続にします。この場合、出力レベルが6dB低下します(=入出力ゲインが常時-6dBになります)。(*CH 1,2 AUD OUTについてアンバランス入力への接続は非推奨)

コネクターピン配表 610L20 -2

"FU1""FU2"

D25F(=Female) #4-40 post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

*Dサブコネクターの勘合固定ネジは強く締めないでください。

Pin No.	Description	Note
1	FU_MON_L+	アンバランス出力回路Z=40Ω (IN-OUT GAIN: -4dB)
14	sig_GND(FU_MON_L-)	
2	FU_MON_R+	
15	sig_GND(FU_MON_R-)	
3	Y-RTB_IN	Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
16	Y-FU_MUTE_IN	Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
4	FU_ON_TALLY_OUT	Open Collector 50mA Max (0V Common)
17	CUE_LAMP_OUT	Open Collector 50mA Max (0V Common)
5	OA_OUT	Open Collector 50mA Max (0V Common)
18	STBY_OUT	Open Collector 50mA Max (0V Common)
6	+15V_OUT	+15V POWER OUT 150mA MAX
19	0V_OUT	0V POWER & Logic GND
7	-15V_OUT	-15V POWER OUT 150mA MAX
20	RTB_sig_IN+	Audio Input ref.=-6～+0dBu Z=6kΩ
8	sig_GND	sig GND
21	FU1:A1+ / FU2:A13+	AUX1,2 IN のあるカフボックス接続用 (671FUS-BはAUX2 INがXLRのみなので標準ケーブルではA2は未接続。接続する場合は工夫が必要です)
9	FU1:A1- / FU2:A13-	
22	A2+	
10	A2-	
23	sig_GND	sig GND
11		
24		
12	sig_GND	sig GND(RTB_sig_IN- として使用)
25		
13		

*制御入出力の電圧定格は0～+30V。マイナス電圧接続禁止(故障に至ります)。

*FU1,FU2のA1,A2はバッファアンプ等は無くMON_A1_IN,A2_INと単に直接接続されています。A1,A2の接続は設備仕様に応じて自由に割り当て可能です。

***二つのEXT1/TBは、全ピン直結ですべての機能が同一です。配線接続の都合で使い分けてください。**

"EXT1/TB"

*Dサブコネクターの勘合固定ネジは強く締めないでください。

D25F(=Female) #4-40 post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description		Note
1	sig_GND		sig GND
14	TB_sig_OUT+		Audio Output (TB1,2,3 Mixed) Z=100Ω(LINK接続時に使用) 最大+19dBu
2	TB1_sig_IN+		Audio Input ref.=+4dBu Z=20kΩ(Balanced) 最大+19dBu
15	TB1_sig_IN-		
3	sig_GND		sig GND
16	sig GND		
4	Y-FU1TB_SW_IN		Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
17	Y-TB_SW_IN		Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
5	SLS_VOL_DC_IN	*4	0V～+15V DC Input (VOL_Max=0V/MUTE=+15V)
18	Y-FU2TB_SW_IN		Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
6	FU1_ON/OFF_SW_IN		Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
19	Y-FU1_ON_IN		Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
7	FU1_ON_TALLY_OUT	*5	Open Collector 50mA Max (0VA Common)
20	FU1_CUE_LAMP_IN+		Opt.coupler Input anode 5～30V
8	FU1_CUE_LAMP_IN-		Opt.coupler Input cathode (ON時=1.5～3mA)(OFF時許容漏れ電流0.1mA以下 *6)
21	TB2_sig_IN+		Audio Input ref.=+4dBu Z=20kΩ(Balanced) 最大+19dBu
9	TB2_sig_IN-		
22	Y-FU_LINK_SW_IN		Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
10	0VA/sig_GND		sig GND
23	TB3_sig_IN+		Audio Input ref.=+4dBu Z=20kΩ(Balanced) 最大+19dBu
11	TB3_sig_IN-		
24	+15V_VOL	*4	SLS_VOL_DC_IN専用+15V出力 他の用途で使用禁止
12	0VA		0V POWER & Logic GND
25	+15VA	*3	+15V POWER OUT Max60mA
13	-15VA	*3	-15V POWER OUT Max60mA

*制御入出力の電圧定格は0～+30V。マイナス電圧接続禁止(故障に至ります)。

*3 +15V(-15Vも同様)から取り出せる電流は、上記記載において便宜上一ヶ所60mAですが、実際はEXT1/TB,EXT2/COMM二つの合計で150mAです。

*4 SLS_VOL_DC_INは0VAと+15V_VOLに10kΩB(リニアカーブ)のボリューム部品を接続して使用します。+15V_VOLは瞬間的なショートから回路を保護するために100Ωの出力保護抵抗を内蔵していますが、意図的なショートあるいは10kΩボリューム以外の大きな負荷(例えばスイッチで一時的に短絡するなど)の接続は、本体動作に影響を与え、故障の原因になりますので、10kΩボリューム以外の負荷を接続しないで下さい。

*5 FU_ON_TALLY_OUT は本体DIPSW#5の設定で、動作が変わります。外部FU強制ONスイッチがY-FU*_ON_INを使用する場合は、DIPSW#5をONで使用します。(DIPSW設定項参照)。

*6 OFF時の接点漏れ電流により本製品の入力がONしてしまう場合があります。OFF時許容漏れ電流は0.1mA以下です。
(0.1～1.2mAの電流となる接続は禁止、故障の原因となる場合があります。)

TB1,2,3音声入力は入力部でMIXされTB音声として使用されます。二つのEXT1/TBコネクタの同じ入力(例えばTB1_sig_IN+,-)両方に信号を接続することはできません。二つのEXT1/TBは全ピン直結であるため、このような接続は二つの外部接続機器の出力同士をショートさせることになります。TB入力音声が複数ある場合はTB1,2,3にそれぞれ分けて接続してください。接続できるTB音声の数は最大3系統です。

コネクターピン配表 610L20 -4

***二つのEXT2/COMMは、全ピン直結ですべての機能が同一です。配線接続の都合で使い分けてください。**

″ EXT2/COMM″

*Dサブコネクターの勘合固定ネジは強く締めないでください。

D25F(=Female) #4-40 post(Dサブカバーはナロータイプ(厚み18mm以下)使用)

Pin No.	Description	Note
1	sig_GND	sig GND
14	RTB_AUD_OUT+	Audio Output (LINK接続時に使用)
2	RTB_sig_IN+	Audio Input (LINK接続時に使用) -側 5kΩでsig_GNDと接続(unbalanced)
15	RTB_sig_IN-	
3	sig_GND	sig GND
16	sig GND	sig GND
4	N.C	
17	Y-TB_SW_IN	Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
5	Y-SLS_THRU_IN	Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common) **A
18	SLS_ON_TALLY_OUT	Open Collector 50mA Max (0VA Common)
6	FU2_ON/OFF_SW_IN	Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
19	Y-FU2_ON_IN	Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V / OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
7	FU2_ON_TALLY_OUT *5	Open Collector 50mA Max (0VA Common)
20	FU2_CUE_LAMP_IN+	Opt.coupler Input anode 5～30V
8	FU2_CUE_LAMP_IN-	Opt.coupler Input cathode (ON時=1.5～3mA)(OFF時許容漏れ電流0.1mA以下 *6)
21	OA/STBY_IN+	Opt.coupler Input anode 5～30V
9	OA_IN-	Opt.coupler Input cathode (ON時=1.5～3mA)(OFF時許容漏れ電流0.1mA以下 *6)
22	STBY_IN-	Opt.coupler Input cathode (ON時=1.5～3mA)(OFF時許容漏れ電流0.1mA以下 *6)
10	RTB_TALLY_OUT	Open Collector 50mA Max (0VA Common)
23	SLS_MUTE_LINK	Open Collector+Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V/OFF:OPEN(>4V) 0V Common) **A
11	DIM_LINK	Open Collector+Logic Input(ON<1V,1.5mA@0V/OFF:OPEN(>4V) 0V Common)
24	CUE_LAMP_LINK	通常未使用 (LINK接続時に使用)
12	0VA	0V POWER & Logic GND
25	+15VA *3	+15V POWER OUT Max60mA
13	-15VA *3	-15V POWER OUT Max60mA

*制御入出力の電圧定格は0～+30V。マイナス電圧接続禁止(故障に至ります)。

*3 +15V(-15Vも同様)から取り出せる電流は、上記記載において便宜上一ヶ所60mAですが、実際はEXT1/TB,EXT2/COMM二つの合計で150mAです。

**A:Y-SLS_THRU_INとSLS_MUTE_LINKが同時にONされた場合Y-SLS_THRU_INが優先されます。

*5 FU_ON_TALLY_OUT は本体DIPSW#5の設定で、動作が変わります。外部FU強制ONスイッチがY-FU*_ON_INを使用する場合は、DIPSW#5をONで使用します。(DIPSW設定項参照)。

*6 OFF時の接点漏れ電流により本製品の入力がONしてしまう場合があります。OFF時許容漏れ電流は0.1mA以下です。
(0.1～1.2mAの電流となる接続は禁止、故障の原因となる場合があります。)

製品仕様

製品名 : FU/COMM IF2 **型番 :** 610L20

SPEC.	
入力コネクター	AUDIO_IN:1ヶ D25F(=Female)#4-40post
出力コネクター	AUDIO_OUT:1ヶD25F(=Female)#4-40post
制御コネクター	FU:2ヶD25F(=Female)#4-40post EXT1/TB:2ヶ(全ピンパラ)D25F(=Female)#4-40post
	EXT2/COMM: 2ヶ(全ピンパラ)D25F(=Female)#4-40post
音声入力特性	AUDIO_IN:入力インピーダンス 20kΩ電子バランス型 +4dBu基準 最大+25dBu
音声出力特性	AUDIO_OUT(CH):出力インピーダンス 100Ω電子バランス型(BTL) +4dBu基準 最大+25dBu(*1)
	AUDIO_OUT(CH他):出力インピーダンス 40Ωアンバランス型 最大+21dBu 負荷2kΩ以上
入出力伝達特性	CH IN-CH OUT ゲイン: 0dB±0.5dB f特性: 20～20kHz +0.5/-0.5dB
	THD+N: <0.01%@+4dBu1kHz(No wtg) MUTE減衰量: 90dB以上

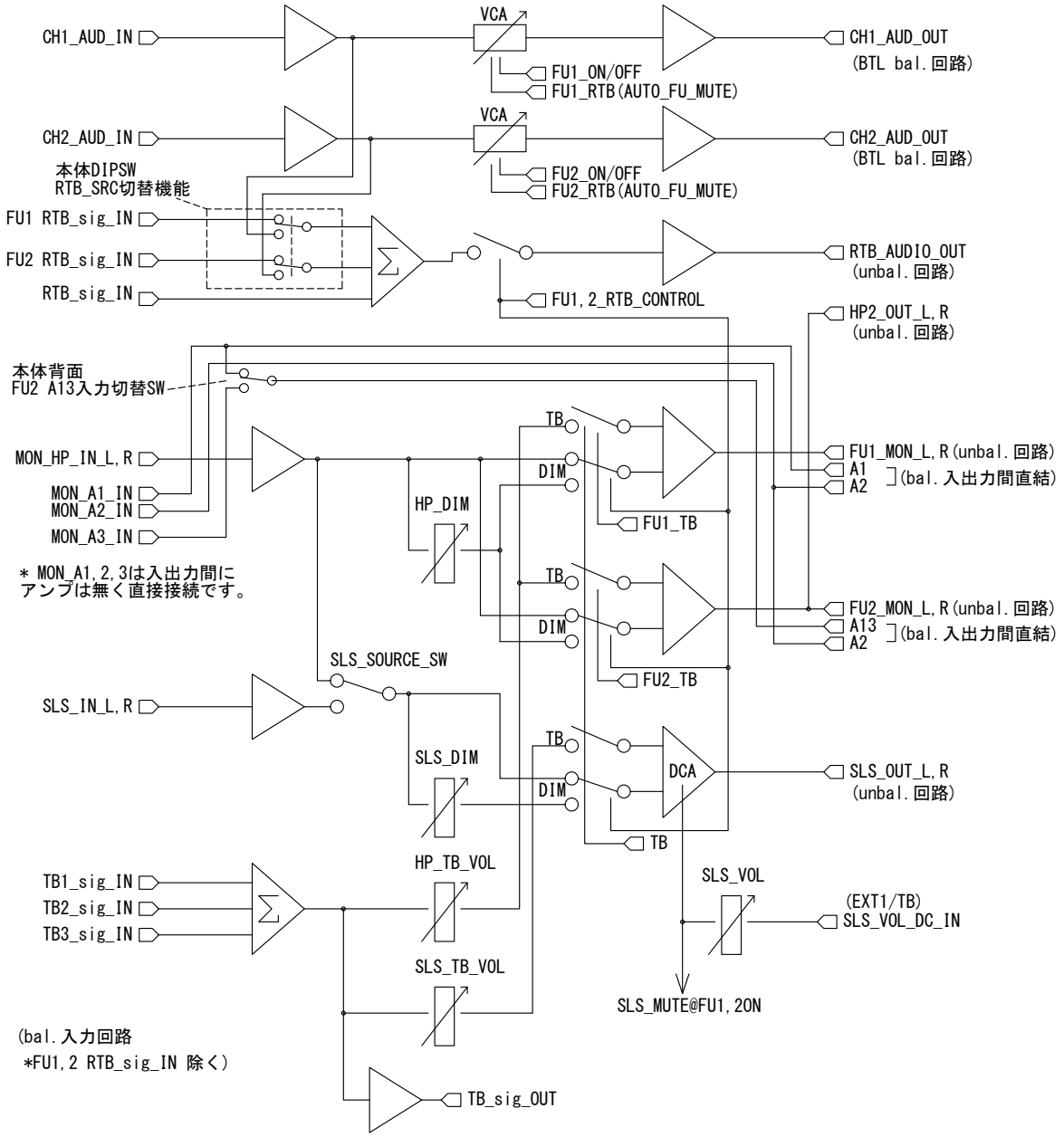
定格	
電源電圧	100VAC
電源周波数	50/60Hz
消費電力	20W(max)
動作温度湿度	5～35℃、35～85%RH(非結露)
外形寸法	W=482mm D=160mm H=44mm (各突起部及びコネクター含まず)
質量	2.3kg (本体のみ。電源コード及びコネクター等含まず)
付属品	電源コード1、取扱説明書1

*1:対バランス入力接続時。

(株)スタジオイクイプメント http://www.studioequipment.co.jp

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10
TEL:03-3795-3111 FAX:03-3795-3353

610L20 ブロックダイアグラム



Part No. C610LA_L05 (L**：20m以下)

*20mはマルチマイク
ケーブルタイプを推奨

610L20
610L2,610L2-C

FU1 FU2

610FA1

610FA1

*AWG28は 10m以下で可
SS300SB-24(28)-10P：10pr/SCR AWG24(or 28)(5m)
(10pr Shielded Cable)

↓*施工用資料
DA202A-12P
12pr/SCR AWG25

D25M#4-40

FU_MON_L+	1	BLK	1	1a	RED/BK..	1	MON_IN_L+
FU_MON_L−	14	BLK/WHT	2	1b	WHT/BK..	14	MON_IN_L−
FU_MON_R+	2	RED	3	2a	BLU/BK..	2	MON_IN_R+
FU_MON_R−	15	RED/WHT	4	2b	WHT/BK..	15	MON_IN_R−
Y−RTB_IN	3	GRN	5	3a	YEL/BK..	3	RTB_TALLY_OUT
Y−FU_MUTE_IN	16	GRN/WHT	6	3b	WHT/BK..	16	FU_MUTE_OUT
FU_ON_TALLY_OUT	4	YEL	7	4a	GRN/BK..	4	FU_ON_TALLY_IN
CUE_LAMP_OUT	17	YEL/WHT	8	4b	WHT/BK..	17	CUE_LAMP_IN
OA_OUT	5	BRN	9	5a	BRN/BK..	5	ONAIR_LAMP_IN
STBY_OUT	18	BRN/WHT	10	5b	WHT/BK..	18	STBY_LAMP_IN
+15V_OUT	6	BLU＋BLU/WHT	11＋12	6a+6b	GRY/BK−＋WHT/BK−	6	+15V_IN
0V_OUT	19	SCREEN				19	sig_GND/0V
−15V_OUT	7	GRY＋GRY/WHT	13＋14	7a+7b	BLU/GY..＋BLK/GY..	7	−15V_IN
RTB_sig_IN+	20	ORG	15	8a	YEL/GY..	20	RTB_sig_OUT+
sig_GND	8	ORG/WHT	16	8b	BLK/GY..	8	sig_GND/0V
A1+	21	VIO	17	9a	GRN/GY..	21	AUX1_IN+
A1−	9	VIO/WHT	18	9b	BLK/GY..	9	AUX1_IN−
A2+	22	LGN	19	10a	BRN/GY..	22	AUX2 IN+
A2−	10	LGN/WHT	20	10b	BLK/GY..	10	AUX2 IN−
sig_GND	23					23	sig_GND/0V
N.C. Reserved (RTB_sig_IN−)	11					11	CUE_SW_OUT
	24					24	
	12					12	sig_GND/0V
	25					25	
	13					13	

PNK	21	11a	GRY/GY−.
PNK/WHT	22	11b	BLK/GY−.
SKY	23	12a	BLU/RD..
SKY/WHT	24	12b	ORG/RD..
WHT	25		
WHT/BLK	26		

(13prの場合未使用線)

シールド線(SCREEN)は両端19番,8番ピンにパラ接続と
なるため、両端各2本の付け線処理(*1)にします。

*1:Dサブカバー内でシールド(+ドレイン)線全部をまとめて付け線
処理(はんだジョイントによる細線延長)します(減線接続禁止)。

！注意！
ピン番号が下側に記載されています

610L20
610L2,610L2-C
"FU1" "FU2"
D25M#4-40

610FA1
"---"
D25F#4-40

*AWG28は 10m以下で可
SS300SB-24(28)-10P：10pr/SCR AWG24(or28)(5m)
(10pr Shielded Cable)

(MP Cover +screw)

(MP Cover +screw)

Part No. C610LA_L20MC (_L**MC)

610FA1

610L20
610L2,610L2-C

FU1 FU2

610FA1

8CH マルチマイクケーブル(20m) (**m)

*20m以上は巻線シールドタイプを使用。(アルミラップ不可)
15m以下は巻線、アルミラップ、どちらも可

D25M#4-40

D25F#4-40

FU_MON_L+	1	1+		1	MON_IN_L+
FU_MON_L−	14	1−		14	MON_IN_L−
		1SCR			
FU_MON_R+	2	2+		2	MON_IN_R+
FU_MON_R−	15	2−		15	MON_IN_R−
		2SCR			
Y−RTB_IN	3	3+		3	RTB_SW_OUT
Y−FU_MUTE_IN	16	3−		16	FU_MUTE_OUT
		3SCR			
FU_ON_TALLY_OUT	4	4+		4	FU_ON_TALLY_IN
CUE_LAMP_OUT	17	4−		17	CUE_LAMP_IN
		4SCR			
OA_OUT	5	5+		5	ONAIR_LAMP_IN
STBY_OUT	18	5−		18	STBY_LAMP_IN
		4SCR			
+15V_OUT	6			6	+15V_IN
0V_OUT	19			19	sig_GND/0V
−15V_OUT	7			7	−15V_IN
RTB_sig_IN+	20	6+		20	RTB_sig_OUT+
sig_GND	8	6−		8	sig_GND/0V
		6SCR			
A1+	21	7+		21	AUX1_IN+
A1−	9	7−		9	AUX1_IN−
		7SCR			
A2+	22	8+		22	AUX2 IN+
A2−	10	8−		10	AUX2 IN−
sig_GND	23	8SCR		23	sig_GND/0V
	11			11	CUE_SW_OUT
N.C. Reserved (RTB_sig_IN−)	24			24	sig_GND/0V
	12			12	
	25			25	
	13			13	

*20m以上の場合 +15V，0V，−15Vの
シールド(SCR)線は横巻線を切らずに必ず
ドレイン線と一緒にまとめてピンに接続して
ください。(経年変化で横巻線とドレインの
接触抵抗の増大に対応するため。)
*15m以下は横巻線切断可(=アルミラップ可)

！注意！
ピン番号が下側に記載されています

ケーブルCH1,2,6,7,8(5CH分)シールドは両端で各一括
付け線処理(*2)にします。(こちらは横巻線切断可)

*2:Dサブカバー内でドレイン線をまとめて付け線
処理(はんだジョイントによる細線延長)します。

610L20
610L2,610L2-C
"FU1" "FU2"
D25M#4-40

610FA1
"---"
D25F#4-40

8CH マルチマイクケーブル (20m) (**m)

*20m以上は巻線シールドタイプを使用。(アルミラップ不可)
15m以下は巻線、アルミラップ、どちらも可

(MP Cover +screw)

(MP Cover +screw)

Date	note
Rev.4 '00.00/00	-----
Rev.3 '00.00/00	-----
Rev.2 '00.00/00	-----
Rev.1 '00.00/00	-----

Gecko electronics

Author	Draw
−	KAS

Last Edit 26.01.2026

Title
10pr/SCR，8CH マルチマイクケーブル 使用
610L2(-C)--610FA1 Cable Wiring *2 SCH

Drw No. C610LA_LxxW1

Scale N.T.S

Part No. 610LC671_L05

671FUS-B1

610L20
610L2,610L2-C

FU1 FU2

671FUS-B,B1

SS300SB-8PR : 8pr/SCR AWG24 (5m)
(8pr Shielded Cable)

D25M#4-40

SRCN6A21-16S

SRCN6A21-16S

FU_MON_L+	1	BLK	1	MON_IN_L+
FU_MON_L-	14	BLK/WHT	2	MON_IN_L-
FU_MON_R+	2	RED	3	MON_IN_R+
FU_MON_R-	15	RED/WHT	4	MON_IN_R-
Y-RTB_IN	3	GRN	5	RTB_SW_OUT
Y-FU_MUTE_IN	16	GRN/WHT	6	FU_MUTE_OUT
FU_ON_TALLY_OUT	4	YEL	7	FU_ON_TALLY_IN
CUE_LAMP_OUT	17	YEL/WHT	8	AUX1Main IN+
OA_OUT	5	BRN	9	AUX1Main IN-
STBY_OUT	18	BRN/WHT	10	N.C
+15V_OUT	6	BLU	11	+15V_IN
0V_OUT	19	BLU/WHT	12	s_gnd (0V)
-15V_OUT	7	GRY	13	-15V_IN
RTB_sig_IN+	20	GRY/WHT	14	RTB_sig_OUT+
sig_GND	8	SCREEN	15	s_gnd
A1+	21		16	CUE_LAMP_IN
A1-	9			
A2+	22			
A2-	10	ORG	15	
sig_GND	23	ORG/WHT	16	
	11			
	24			
	12			
	25			
	13			

！注意！
ピン番号が下側に記載されています

610L20
610L2,610L2-C
"FU1" "FU2"
D25M#4-40

671FUS-B,B1
"---"
SRCN6A21-16S

SS300SB-8PR : 8pr/SCR AWG24 (5m)

Clamp Insulation Boot

(MP Cover +screw)

SS300SB-8P-#24 CABLE

610LC671_L**MC

671FUS-B1

610L20
610L2,610L2-C

FU1 FU2

8CH マルチマイクケーブル (**m)

*20m以上は巻線シールドタイプを使用。(アルミラップ不可)
20m以下は巻線、アルミラップ、どちらも可

D25M#4-40

671FUS-B,671FUS-B1

SRCN6A21-16S

SRCN6A21-16S

FU_MON_L+	1	1+	1	MON_IN_L+
FU_MON_L-	14	1-	2	MON_IN_L-
		1SCR		
FU_MON_R+	2	2+	3	MON_IN_R+
FU_MON_R-	15	2-	4	MON_IN_R-
		2SCR		
Y-RTB_IN	3	3+	5	RTB_SW_OUT
Y-FU_MUTE_IN	16	3-	6	FU_MUTE_OUT
		3SCR		
FU_ON_TALLY_OUT	4	4+	7	FU_ON_TALLY_IN
CUE_LAMP_OUT	17	4-		
		4SCR		
OA_OUT	5	5+	16	*pin16です CUE_LAMP_IN
STBY_OUT	18	5-		
		5SCR		
+15V_OUT	6		11	+15V_IN
0V_OUT	19		12	s_gnd (0V)
-15V_OUT	7		13	-15V_IN
RTB_sig_IN+	20	6+	14	RTB_sig_OUT+
sig_GND	8	6-	15	s_gnd
		6SCR		
A1+	21	7+	8	*pin8,9です AUX1Main IN+
A1-	9	7-	9	AUX1Main IN-
		7SCR		
A2+	22	8+	10	N.C
A2-	10	8-		
sig_GND	23	8SCR		
	11			
	24			
	12			
	25			
	13			

*20m以上の場合+15V,0V,-15Vの
シールド(SCR)線は横巻線を切らずに必ず
ドレイン線と一緒にまとめてピンに接続して
ください。(経年変化で横巻線とドレインの
接触抵抗の増大に対応するため。)
*20m以下は横巻線切断可(=アルミラップ可)

AUX2を使用する場合、XLR等
AUX2接続用別コネクターへ

*AUX1(及び2)未使用の場合はCH7(,CH8)は接続不要です。

！注意！
ピン番号が下側に記載されています

610L20
610L2,610L2-C
"FU1" "FU2"
D25M#4-40

671FUS-B,671FUS-B1
"---"
SRCN6A21-16S

8CH マルチマイクケーブル (**m)

*20m以上は巻線シールドタイプを使用。(アルミラップ不可)
20m以下は巻線、アルミラップ、どちらも可

Clamp Insulation Boot

(MP Cover +screw)

Date	note
Rev.4 '00.00/00	-----
Rev.3 '00.00/00	-----
Rev.2 '00.00/00	-----
Rev.1 '00.00/00	-----

Gecko electronics

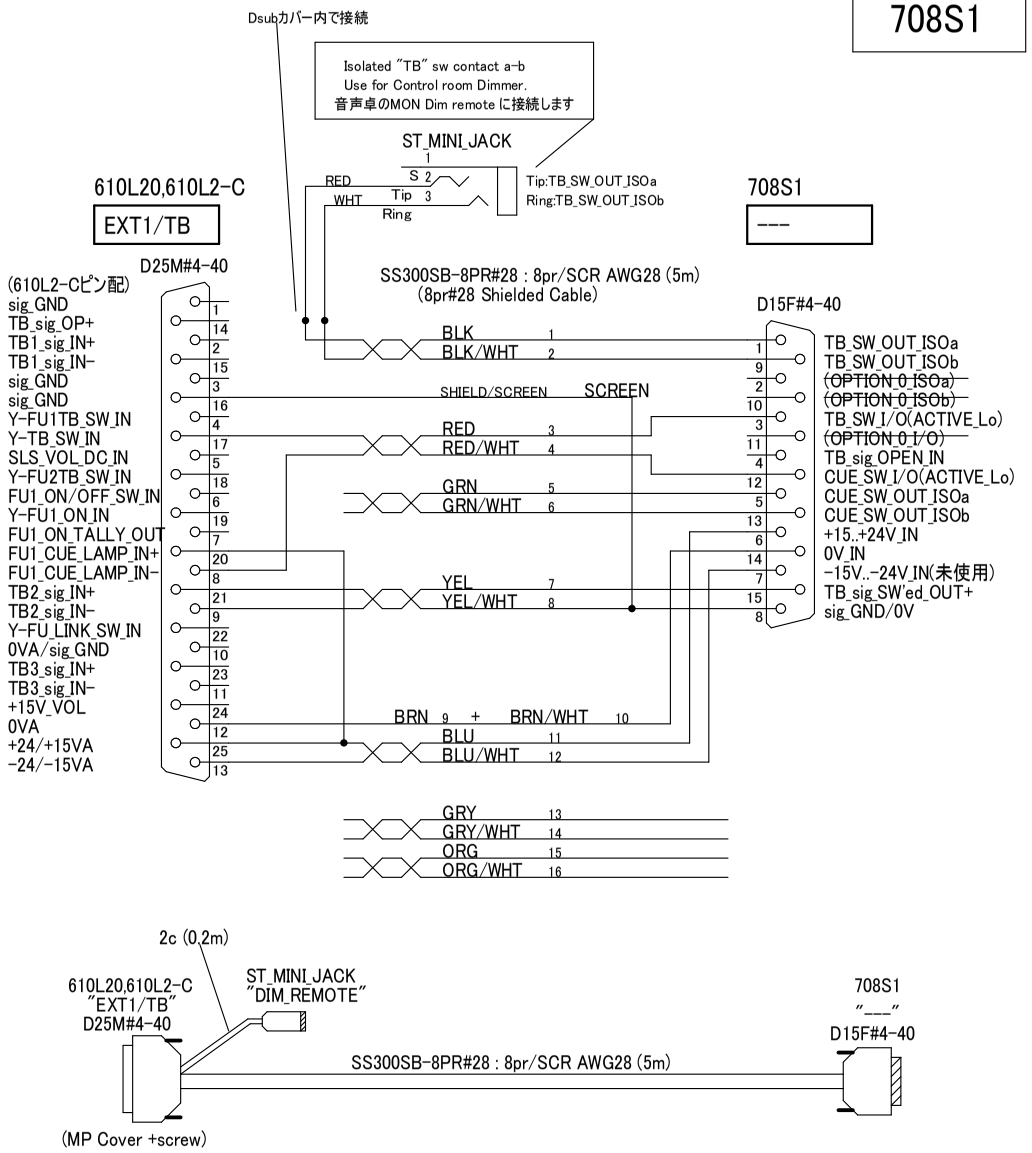
Author: -
Draw: KAS
Last Edit: 26.01.2026

Title: 8pr/SCR , 8CH マルチマイクケーブル 使用
610L2--671FUS-B Cable Wiring SCH

Drw No. 610LC671_LxxW1a

Scale N.T.S

708S1

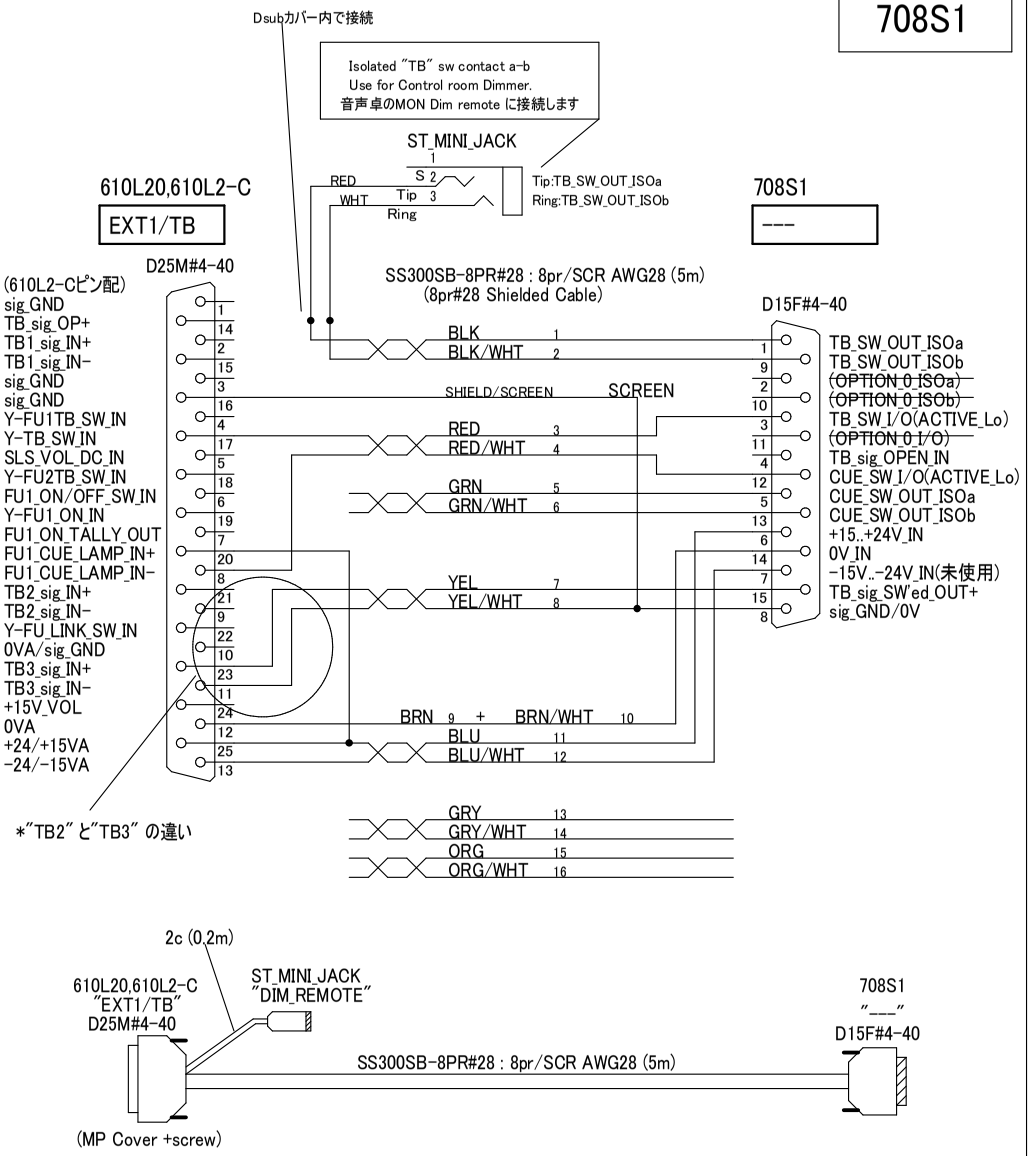


Part No.: 610C708_L05(TB2)

"TB2" Type

*1台の610L20(610L2-C)に2台の708S1(および708B3)を接続する場合、
接続ケーブルは、1台は"TB2"Type,もう1台は"TB3"Typeが必要です。

708S1



Part No.: 610C708_L05(TB3)

"TB3" Type

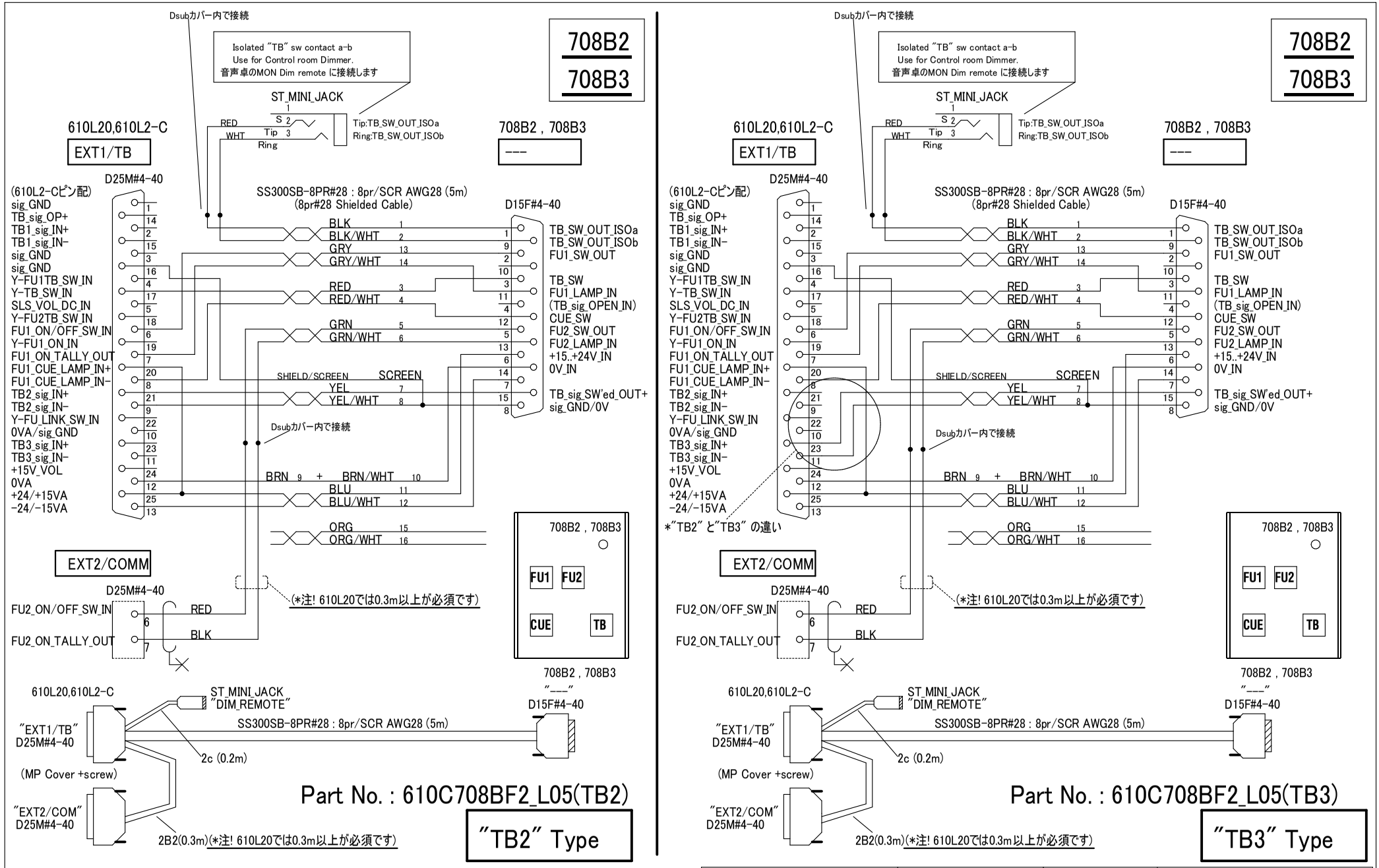
Date	note
Rev.4 '00.00/00	-----
Rev.3 '00.00/00	-----
Rev.2 '00.00/00	-----
Rev.1 '00.00/00	-----

Gecko electronics

Author: -
Draw: KAS
Last Edit: 28.01.2026

Title: 8pr/SCR ケーブル使用
610L2-C--708S1 Cable Wiring 1 SCH

Drw No.: 610C708_L05W1
Scale: N.T.S


708B2
708B3
Dsubカバー内で接続
Isolated "TB" sw contact a-b
Use for Control room Dimmer.
音声卓のMON Dim remote に接続します
ST_MINI_JACK
RED
WHT
Tip
Ring
Tip:TB_SW_OUT_ISOa
Ring:TB_SW_OUT_ISOb
610L20,610L2-C
EXT1/TB
708B2 , 708B3

D25M#4-40
(610L2-Cピン配)
sig_GND
TB_sig_OP+
TB1_sig_IN+
TB1_sig_IN-
sig_GND
sig_GND
Y-FU1TB_SW_IN
Y-TB_SW_IN
SLS_VOL_DC_IN
Y-FU2TB_SW_IN
FU1_ON/OFF_SW_IN
Y-FU1_ON_IN
FU1_ON_TALLY_OUT
FU1_CUE_LAMP_IN+
FU1_CUE_LAMP_IN-
TB2_sig_IN+
TB2_sig_IN-
Y-FU_LINK_SW_IN
0VA/sig_GND
TB3_sig_IN+
TB3_sig_IN-
+15V_VOL
0VA
+24/+15VA
-24/-15VA
SS300SB-8PR#28 : 8pr/SCR AWG28 (5m)
(8pr#28 Shielded Cable)
D15F#4-40
BLK
BLK/WHT
GRY
GRY/WHT
RED
RED/WHT
GRN
GRN/WHT
SHIELD/SCREEN
SCREEN
YEL
YEL/WHT
BRN
BRN/WHT
BLU
BLU/WHT
ORG
ORG/WHT
TB_SW_OUT_ISOa
TB_SW_OUT_ISOb
FU1_SW_OUT
TB_SW
FU1_LAMP_IN
(TB_sig_OPEN_IN)
CUE_SW
FU2_SW_OUT
FU2_LAMP_IN
+15..+24V_IN
0V_IN
TB_sig_SW'ed_OUT+
sig_GND/0V
Dsubカバー内で接続
(*注! 610L20では0.3m以上が必須です)
708B2 , 708B3
FU1
FU2
CUE
TB
EXT2/COMM
D25M#4-40
FU2_ON/OFF_SW_IN
FU2_ON_TALLY_OUT
RED
BLK
610L20,610L2-C
ST_MINI_JACK
"DIM_REMOTE"
"EXT1/TB"
D25M#4-40
SS300SB-8PR#28 : 8pr/SCR AWG28 (5m)
D15F#4-40
"___"
2c (0.2m)
(MP Cover +screw)
"EXT2/COM"
D25M#4-40
2B2(0.3m)(*注! 610L20では0.3m以上が必須です)
Part No. : 610C708BF2_L05(TB2)
"TB2" Type
*1台の610L20(610L2-C)に2台の708S1(および708B3)を接続する場合、
接続ケーブルは、1台は"TB2"Type,もう1台は"TB3"Typeが必要です。
*"TB2" と"TB3" の違い
Part No. : 610C708BF2_L05(TB3)
"TB3" Type
Date
note
Rev.4 '00.00/00 -----
Rev.3 '00.00/00 -----
Rev.2 '00.00/00 -----
Rev.1 '00.00/00 -----
Gecko electronics
Author
–
Draw
KAS
Last Edit
28.01.2026
Title
8pr/SCR ケーブル使用
610L2-C--708B2,B3 Cable Wiring 1 SCH
Drw No.
610C708BF2_L05W1
Scale
N.T.S